

作物名：ウメ

病害虫名：灰色かび病（病原：*Botrytis cinerea* Persoon）



果実における病徴

#### 1 被害の特徴と診断のポイント

・主に花と果実に発病し、花では褐色の病斑を形成し、枯死した花弁やがく等から果実へ病勢が進展する。感染した果実は同心円状に腐敗し、表面に灰色のかびを生じる。

#### 2 伝染源及び伝染方法

・多犯性の菌であるため、多くの植物に寄生する。それらの罹病植物が伝染源となる。

#### 3 発病・伝染好適条件

・15 ～ 20 ℃，多湿条件が発病に好適である。幼果期に降雨が続くと発病が多くなる。

#### 4 防除方法

・剪定時に不必要な枝を剪除し、風通しを改善する。  
・開花期～幼果期に降雨が続く場合は薬剤防除を徹底し、発病を予防する。

#### 5 出典

- (1) 参考文献：日本植物病害大事典(全国農村教育協会)  
ひと目でわかる 果樹の病害虫 第三巻(日本植物防疫協会)
- (2) 写真：宮城県病害虫防除所撮影